

第49回 参議院契約監視委員会 定例会議議事概要

開催日	令和5年12月12日		
場所	Web 会議形式 参議院第二別館東棟1階 会計課会議室より配信		
出席委員氏名	委員長	奥 真美 (東京都立大学都市環境学部 教授)	
	委員	伊集 守直 (横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授)	
	委員	望月 崇 (公認会計士)	
審査対象期間	令和5年4月1日～令和5年6月30日		
抽出案件	5件		
一般競争入札	4件	契約件名	押しボタン式投票装置議場内設備改修工事
		契約相手方	三菱電機株式会社
		契約金額	325,941,000円
		契約締結日	令和5年4月17日
	4件	契約件名	第二別館南棟衛生設備その他改修工事
		契約相手方	日管株式会社東京支店
		契約金額	165,000,000円
		契約締結日	令和5年6月6日
	4件	契約件名	会議録関連システムに係る機器一式
		契約相手方	東芝ITサービス株式会社 NTT・TCリース株式会社
		契約金額	525,888,000円
		契約締結日	令和5年4月3日
		契約件名	参議院議員会館ネットワークシステム更新に関する 調達支援業務
契約相手方	情報技術開発株式会社		
契約金額	12,100,000円		
契約締結日	令和5年6月29日		
随意契約	1件	契約件名	参議院自動車運行管理業務
		契約相手方	株式会社セノン
		契約金額	72,415,200円
		契約締結日	令和5年4月3日

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	(対象契約はいずれも妥当なものと認められた。)	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>1. 報告事項</p> <p>折茂会計課長から、審議対象事案について口頭報告を省略し、既に配付済みである旨報告があった。報告文の概要は以下のとおりである。</p> <p>(1) 入札及び契約方式別の状況について</p> <p>(2) 1者応札・1者応募の状況及び聴取調査について</p> <p>営繕課及び電気施設課分に15件、会計課分に20件の該当があった。</p> <p>(3) 指名停止の運用状況について</p> <p>営繕課及び電気施設課分に1件の該当があった。</p> <p>(4) 談合情報への対応状況について</p> <p>該当がなかった。</p> <p>2. 抽出結果の報告</p> <p>抽出委員の望月委員から、審議対象期間に締結した114件の契約のうち、一般競争入札から4件、随意契約から1件、抽出した旨報告があった。</p> <p>また、各事案の抽出理由について、次のとおり説明があった。</p> <p>【抽出事案】</p> <p>A. 押しボタン式投票装置議場内設備改修工事</p> <p>一般競争入札方式（総合評価落札方式）[工事]</p> <p>B. 第二別館南棟衛生設備その他改修工事</p> <p>一般競争入札方式（総合評価落札方式）[工事]</p> <p>C. 会議録関連システムに係る機器一式</p> <p>一般競争入札方式（総合評価落札方式）[役務]</p> <p>D. 参議院議員会館ネットワークシステム更新に関する調達支援業務</p> <p>一般競争入札方式（最低価格落札方式）[役務]</p> <p>E. 参議院自動車運行管理業務</p> <p>随意契約方式（不落・不調随意契約）[役務]</p> <p>事案Aは、1者応札案件であり、営繕課・電</p>	

気施設課の審議対象期間内の案件の中で最も契約金額が高く、落札率も比較的高い（99.7%）。第27回（装置点検保守）及び第45回契約監視委員会（装置制御部改修）で議論した競争性ある調達方式への移行、費用削減努力等について、進展状況を検討する。

事案Bは、1者応札案件であり、営繕課・電気施設課の審議対象期間内の案件の中で、事案Aに次いで契約金額が高く、落札率も比較的高い（99.7%）。1者応札・1者応募の状況及びその聴取調査による対応策等が「特になし」となっているところ、競争性ある調達方式への移行、費用削減努力等について、具体的な改善への取組を検討する。

事案Cは、1者応札案件であり、会計課の審議対象期間内の案件の中で最も契約金額が高く、落札率も比較的高い（99.9%）。院内における次期システムのあり方に関する検討の進捗状況について、継続的な事案である点にも鑑み、前回に続き検討する。

事案Dは、予定価格に対する契約金額の著しい低さ（落札率 48.8%）等に着目し、「予定価格の妥当性（予定価格が高すぎたのか）」、「契約金額の妥当性（低入札価格調査の内容）」について、それぞれ検討する。

事案Eは、随意（不落・不調）契約である点及び金額的重要性にも着目し、「予定価格の妥当性（予定価格が低すぎたのか）」、同契約に係る契約金額の過年度からの推移も踏まえ、「随意契約で契約価格の減額を可能とした要因」について、それぞれ検討する。

3. 抽出事案の審議

委員から関係部署に対し質疑を行った。主なやり取りは以下のとおりである。

A. 押しボタン式投票装置議場内設備改修工事

一般競争入札方式（総合評価落札方式）[工事]

- ① 本事案は、当該設備の初期設置工事の入札時は複数業者から応札があったが、今回の改修工事においては1者応札となっている。この現状をどう考えているか。

（①の回答を受けて）

本設備はいわゆる「枯れたシステム」と言われる、一般化が進んだ設備と考える。一般化が進むほど保守等は容易となる傾向のため、実施能力が見込まれる業者により指名競争入札を行うなど、参入業者を増やす方を検討していただきたい。

- ② 本設備と類似している設備を他の機関（国・地方の議会等）が導入している例はあるか。その場合、同様の改修工事を担う業者が参加する見込みがあるのではないか。

- ③ 本事案は変更契約を行っているが、この変更契約による工事は当初契約以前には把握できなかったのか。

今回の調達是一般競争入札によって行っているものの、落札者以外に説明書を取りに来た業者がいなかったため、特段他者への聴取調査は行っていない。そのため、業者側の状況は把握できていない。今後も一般競争入札による調達を続けていく予定である。

全国市議会議長会の公表資料によると、全国の地方自治体815団体のうち187の団体で同じような投票設備を導入しているとのことだった。御指摘のとおり他の地方自治体の工事を担っている業者の参加はあり得ると思う。

今回の事象は、事前に必要な作業であると把握していたが、契約業者決定後に現地等の詳細な調査を行った方がより正確に作業が行えると判断し、契約締結後の変更契約となった。

<p>④ 現状のままでは、今後も1者応札が続くおそれがある。入札前に業者に対して説明会等を開催し、参議院側がポテンシャルのある業者がどの程度いるか把握する機会を設けてはどうか。</p> <p>⑤ 他の議会等でも同様の設備が導入されているのであれば、規格を統一していくことで、業者は共通的な納入が可能となり、参入しやすくなるのではないか。</p>	<p>公共工事の場合、不正行為防止の観点から、業者が一堂に会する説明会は行わないことが一般的である。これは国土交通省等から各省庁に推奨されている。しかし、業者同士が顔合わせしないよう工夫して説明の場を設けることは可能であると考えてるので、今後検討したい。</p> <p>本設備は他の設備に比べ市場規模が小さいため仕様書等が標準化されていないが、今後導入の数が増え、一般的になれば国土交通省が標準仕様書等の設備項目として適用する可能性はある。</p>
<p>B. 第二別館南棟衛生設備その他改修工事 一般競争入札方式（総合評価落札方式）[工事]</p>	
<p>① 本事案は1者応札・1者応募である。契約諸条件にある土日限定の作業では、技術者等の確保が難しいのではないかと推察される。条件の緩和等、対応策の検討状況を伺いたい。</p>	<p>職員診療所、歯科診療所系統の排水管改修で食堂内部での配管工事等のため、営業等に支障を来す工事である。そのため予算要求の段階から土日の閉庁時の工事を想定していた。</p> <p>一方、平日夜間の工事等も今後検討は必要と考えている。</p>
<p>② 夜間工事でも支障はないということか。</p>	<p>工事施工時には監督職員が立ち会うことになるため、平日の通常業務に従事する職員の確保も必要な中で、夜間工事の監督業務体制を整えることは難しいが、検討は必要と考えている。</p>
<p>③ 総合評価落札方式とすることの妥当性を伺いたい。</p>	<p>本事案は、工程管理、施工中の品質管理等を重要視する工事のため、価格面だけの競争ではなく、技術的提案を求めている。そのため総合評価落札方式が妥当と考えている。</p>

- ④ 入札の方式を決定する基準はあるか。

参議院工事総合評価落札方式入札実施要領において、原則として予定価格が1,000万円以上の設備工事は総合評価落札方式を適用すると定められている。

C. 会議録関連システムに係る機器一式

一般競争入札方式（総合評価落札方式）[役務]

- ① 本件は、会議録関連システムを今後どのように構築していくかというポリシーに関わる部分でもあるので、前回に引き続き議題として抽出した。前回の定例会議以降の議論の進捗及び成果物の有無をお伺いしたい。

現在は、次々期システムに関し、関係部課室と合同会議を行い、基本的調査項目の大枠を決定したところである。

- ② 音声自動認識技術を用いる場合、その精度には一定の限界があり得る。特に専門用語等については、人間が補完することもあると認識している。人間の力をどう活用していくかを踏まえながら、検討を進めていただきたい。

必要な部分については、人間が文脈を考慮するなどしながら対応していきたいと考える。

- ③ 1者応札のため、入札業者以外から有意の調査が不可能であったとのことであるが、仕様書等を取りに来た業者から聞き取りを行うことはできないか。

現在、電子調達システムで公告を行い、業者が仕様書等をダウンロードできる方式になっている。ダウンロードの目的が明確でない業者もいるため、全ての業者から聞き取りを行うことはしていないが、今後、行うことは可能かと思う。

D. 参議院議員会館ネットワークシステム更新に関する調達支援業務

一般競争入札方式（最低価格落札方式）[役務]

<p>① 本事案は予定価格に対する契約金額が著しく低く、低入札価格調査が実施されている。落札業者は、調査において、入札価格の理由を経営上の努力としており、また、入札説明会にも複数業者が来ていたことから、競争圧力が機能したと考えられるが、現状の認識を伺いたい。</p> <p>② 本事案は積算が難しい分野ではあるが、予定価格と落札価格の差を埋められるよう予定価格の作り込みの精度を高めていくことは検討しているか。</p> <p>(②の回答を受けて)</p> <p>システム業界の背景事情、産業構造も踏まえた対応を行うため、CIO補佐官の知見を活用するのも一案と考える。</p> <p>③ 事前見積りから落札価格が大幅に下がっているが、具体的にどの部分で合理化・効率化等を図ったか低入札価格調査で確認することは可能か。</p> <p>(③の回答を受けて)</p> <p>低入札価格調査の結果、問題はなかったということが合理的に説明できるような材料を入手するよう検討していただきたい。</p> <p>E. 参議院自動車運行管理業務 随意契約方式（不落・不調随意契約）[役務]</p> <p>① 本事案は不落随契であるが、本事案における随契交渉の意義をどう考えているか。</p>	<p>落札業者は入札価格の理由を経営戦略としており、事前の入札説明会にも多くの業者が参加していたことから、競争が機能したと考えている。</p> <p>予定価格は適切に決定したと考える。調達支援業務は、購入業務に比べ業者にとって費用の節減努力を行いやすい分野だと思う。</p> <p>引き続きCIO補佐官の知見を活用したい。</p> <p>低入札価格調査の際に質問することは可能と考える。検討させていただきたい。</p> <p>本事案は、予定価格と入札金額の乖離が起りやすく、随契交渉になることが多いが、交渉の結果として予定価格の中に契約金額が収まっており、経済性の確保はできていると</p>
--	---

<p>② 随契交渉の際、事業者によって交渉内容・方法の違いはあったか。</p> <p>③ 落札者は1回目の入札時と落札時では、内訳の中でどの部分を減額したか。</p> <p>④ 運行管理業務の一式とは何か。</p> <p>⑤ ドライバーの確保が難しい中、低賃金では人を手当することが厳しいのではないか。参議院の積算は今のままで良いと考えるか。</p> <p>⑥ 入札で予定価格に入らなかったとき、入札を継続する又は随契交渉に移る基準、根拠はあるか。</p>	<p>いう認識である。</p> <p>事業者によって異なる対応はしていない。</p> <p>業務時間外料金ではなく、運行管理業務一式の料金（業務時間外料金以外の部分）が減額されている。</p> <p>管理車両14台（車両管理員12名）に基本業務時間を設定し12か月間勤務してもらうことである。 基本は人件費でまかなわれている契約である。</p> <p>業者の事情等を聞き取り、参考としたいと考えているが、内部の事情はなかなか教えてもらえない。引き続き検討したい。</p> <p>何回入札しなければならないという決めはない。予定価格と入札価格が大きく乖離している場合には、入札を中断し随契交渉に移るという判断をすることが多い。</p>
--	--